



港湾は世界と日本をつなぐ

～海の玄関口である港を整備する仕事～

広島港湾・空港整備事務所
第一建設管理官室

くじらだ ひろき
鯨田 宏樹 技官

令和2年入省・一般職（大卒程度）・土木



ある日のスケジュール

8:30	渡船、自転車出勤
9:00	メールチェックと今日の予定確認
10:00	業務の遠隔臨場
12:00	海が見える席で昼食
13:00	工事現場で安全パトロール
16:00	工事受注者と工事変更内容の確認
17:00	調査物の回答作成
18:30	退庁
	家でゆっくり過ごす

①中国地方整備局を志望した理由

もともとインフラ関係の仕事、特に港湾空港分野に携わりたいと考えていました。地方自治体や国家公務員など選択肢がありますが、発注規模が大きく、手がけた港湾構造物が港の発展に関わっていることを実感しやすいので、やりがいがあると思い国家公務員（中国地方整備局）に決めました。

②現在の仕事とやりがい・魅力について

福山港における港湾工事の発注、監督をしています。私は1・2年目に設計、3・4年目に工事監督の仕事を経験しましたが、設計で学んだ内容が工事監督の仕事内容とふとした瞬間に結びつくことがありやりがいを感じました。そうした瞬間はこれから様々な仕事をしていく時にもあると思うので、今まで経験してきた仕事とのつながりを発見するのが楽しみです。

③学生へメッセージ

港は自然・生物・船・工場など様々な魅力があるので、興味を持てることを見つけやすいと思います。



▲ 作業船の施工状況を確認の様子